

❄️ 新着図書案内 ❄️



『転換期を生きるきみたちへ』

内田樹編

これからの時代を生き延びるには？山形出身の加藤典洋氏をはじめ、11人の論客が中高生に向けて、知恵と技術を教えてください。



『うどん対ラーメン』

田中六大著

「うどん」と「ラーメン」、それぞれの魅力をきみならどう語るだろうか？食品製造選択者には、一読の価値があるかもしれませんね。



『よるのばけもの』

住野よる著



『サブマリン』

伊坂幸太郎著



『四月になれば彼女は』

川村元気著



『えんとつ町のプペル』

にしのあきひろ著



『自然保護レンジャーになるには』須藤ナオミ、

藤原祥弘著



『狙った筋肉を鍛える！

筋トレ完全バイブル

Ultra Hard』



『方言萌え！？』

田中ゆかり著



『クリエイティブ喧嘩術』

大友啓史著



『Arduinoで
ちょっと未来を作る』
エレキジャック編集部



『Arduino プログラム全集』
国野亘著



『台湾を知るための60章』
赤松美和子、若松大祐編著



『遊学館ブックス：
時をつむぐ若者たち』
山形県生涯学習文化財団編

お知らせ 〈1年生、2年生へ〉

1月30日(月)から、「朝の読書」の時間には各自で用意した本を読みます。

※ 雑誌やコミック、Webコンテンツは不可。

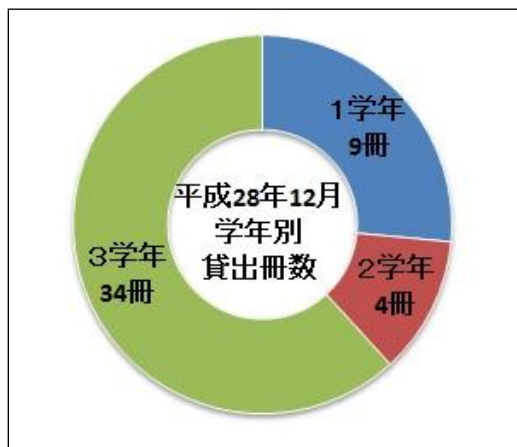
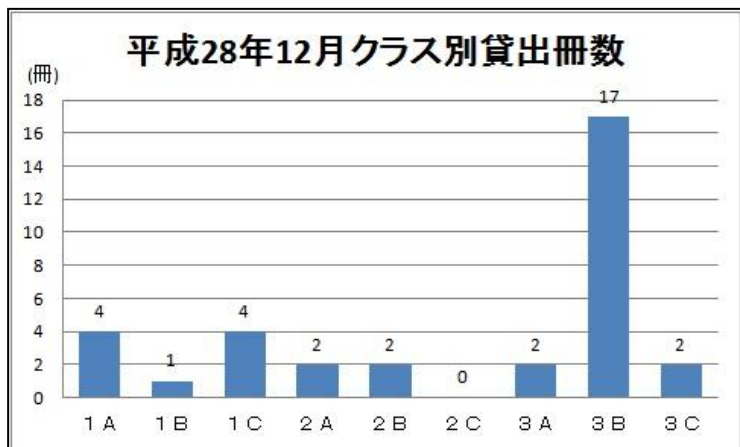
家から本を持って来るか、もしくは今週中に図書館で借りておきましょう。

各HRに「学級文庫」として、図書を置いておきますが、数に限りがあります。

忘れずに本を持ってきましょう。

12月の貸出実績

12月の図書貸出総数は全校で **86冊** でした。内訳は、生徒への貸出数が **34冊**、教職員への貸出数が **52冊** です。



「全校一斉新聞読もうの日」

1月17日(火)、平成28年度第2回「全校一斉新聞読もうの日」を実施しました。ワークシートで“興味を持った記事”として挙げた生徒が多かったもののトップ3についての感想を抜粋して紹介します。

■ 「死亡事故75歳以上は倍 件数初分析 車の運転ミス3割」(総合面)を読んで〈61人〉

- ・ 高齢者ドライバーの事故で子どもの命がうばわれたりする事が最近多いと思うので、これからはそういった事故がおこらないように高齢者の免許の返納を呼びかけていくべきだと思う。車の方も運転ミスで事故が起こらないように工夫して作って機能をあげていった方がいいと思った。(生物生産科1年)
- ・ 3月から75歳以上の運転者の認知機能検査を実施することで事故が少なくなるのは良いけど、その検査にひっかかって免許取り消された人はすごく不便になると思うからその対策も考えた方がいいと思った。(園芸科学科2年)



■ 「寒気去るも“置き土産” 県内」(総合面)を読んで〈23人〉

- ・ たしかに道路が凍っていたり歩道が雪でうまっていたりして大変だなと思った。車に乗っている人は、とても恐そうだった。除雪をこまめにやろうと思った。(生物環境科2年)



■ 「「山形グミ」弾む人気 JAおきたま 完売、4万袋を急きよ追加生産」(経済面)を読んで〈11人〉

- ・ 今、食品製造でやっているような地域のを活かした課題研究と似ていると思いました。そのような成功の例が色々ある中、庄内の特産をどうやって活用するかを考えたいです。(生物生産科2年)
- ・ 県内ニュースで、このグミの存在はもともと知っていたけど、こんなにも人気で、完売状態になっているのは知らなかった。地元のJAと大学と大きな企業が協力するといいい物ができ、経済的にも良くなるんだなと思った。お店に売ってあったら食べてみたい。(生物環境科3年)
- ・ 地域の特産品を生かした商品を発売することは良いことだった。地域の人に親しみのあるものは、新しいものを発売しても買いやすいという印象を与えることが出来ると思った。果物では、こういった加工品は製造できるが、米や野菜では難しいと思った。(生物生産科3年)

